弁論で夢宣言 周囲も応援

わたしの母校

兵庫県立姫路西高校（姫路市）は今年度、創立140周年を迎えた伝統校。毎日放送アナウンサーとして活躍する松本麻衣子さん(36)は「自由な校風で夢に向かって進めた」と振り返り、「今しかできないことを精いっぱい楽しんでほしい」と後輩にエールを送る。【前本麻有】

姫路西高校 ＝兵庫県姫路市

毎日放送アナウンサー
松本 麻衣子さん(36)
＝2001年卒

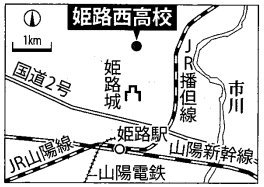
＝大西達也撮影

■文化祭で司会

高校3年生の弁論大会で「私の夢はアナウンサーになることです」と全校生徒を前に宣言した。

幼い頃から母に「叶うという字は『口』に『十』と書くでしょう？ 十にはいっぱいという意味がある。だから、口でいっぱい言っていれば夢は叶う」と言われていた。だから、もともと仲の良い友人たちには「アナウンサーになりたい」と話していた。友人たちも「弁護士になりたい」と言うだけでなく「〇〇大学の法学部に行くんだ」と入学間もない頃から明確な目標を持っていた。真っすぐ自宅には帰らず、近くの公園で夢を語り合った。

自身がアナウンサーを志したのは小学4年生の時。テレビで「働く女性」としてアナウンサーが輝いて見えた。スポーツも好きで中継を見ていると「放送席、放送席～」と呼びかけては、選手に直接インタビューしている姿を見て、将来の夢は定まった。



文化祭では司会を務めた。演目を紹介する台本を暗記して、すらすらと進行した。「今、本当に仕事でしていることを、そのまま当時やっていたんです」と笑う。

夢を宣言して以降は周囲からのアドバイスが増えた。担任の村上慶光先生は「アナウンサーの卒業生が多い、東京の私立大学はどうだ」と勧めてくれた。英語の今井茂先生は「やる気があるなら毎日、質問に来い」と言ってくれたので、本当に毎日足を運び、放課後に廊下に並べた長机で長文問題を丁寧に教えてもらった。

■就活で全国行脚

学習院大に進学後、アナウンサーのスクールに通っては、飲食店でアルバイトをして就職活動に必要な交通費をためた。北は北海道、南は宮崎まで全国行脚。それでも結果が出ず、大学に「就職浪人をさせてください」と伝えた翌日、毎日放送から内定の連絡があった。「やっぱり卒業させてくださーい！」

励みになった言葉はアナウンサースクールの恩師からの「向き不向きより、前向き」。その言葉を胸にあきらめず、西高で宣言した通りに夢を叶えた。屈指の進学校として国公立大学を目指すのが「普通」だったのかもしれない。それでも「いつも私の夢を応援してくれた」のが西高だった。

まつもと・まいこ 1982年生まれ。父の転勤に伴い、小学6年から兵庫県姫路市。学習院大文学部卒業、2005年に毎日放送入社。情報番組「ちちんぷいぷい」などを担当。15年に長男、17年に長女を出産し、育休を経て昨春に職場復帰した。

学校

兵庫県立姫路西高校の外観
＝同校提供

DATA

兵庫県立姫路西高校

1878年、6郡組合立姫路中学校として景福寺を仮校舎に開校した。87年に県内で最初の尋常中学校となり、1901年に県立姫路中学校に改称。48年の学制改革で県立姫路高等学校に。同年6月に県立姫路女子高等学校（現姫路東高校）と折半交流し、男女共学の県立姫路西高等学校となった。2014年に文部科学省スーパーグローバルハイスクールに指定。18年11月に「創立140周年記念式典」が行われた。

姫路中学時代には哲学者・和辻哲郎、落語家・3代目桂米朝、小説家・阿部知二らが学んだ。

兵庫県立姫路西高卒業生やゆかりのみなさんの「思い出」を募集します。300字程度で、学校生活や恩師、友人・知人との思い出、またその後の人生に与えた影響などをお書きください。住所、氏名、年齢、職業、電話番号、あればメールアドレス、

姫路西高の思い出募集

卒業生の場合は卒業年度を明記のうえ、〒530―8251、毎日新聞エリア報道センター「母校」係（住所不要）へ。FAXは06・6346・8477。メールの場合はo.area@mainichi.co.jpへ。いただいた「思い出」は、紙面や毎日新聞ニュースサイトで紹介することがあります。